

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年9月25日

施設名	高知県立美術館	所管課名	文化生活部 文化・国際課
-----	---------	------	-----------------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県文化財団	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日 平成21年4月1日～平成26年3月31日
施設所在地	高知市高須		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品及び美術に関する資料の収集、保管及び展示 ・美術に関する専門的な調査研究 ・美術に関する講演会、講習会、研究会等の教育普及活動 ・美術品等の展示のための県民ギャラリーの提供 ・音楽、演劇等の鑑賞のためのホールの提供 ・上記のほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な業務 		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p><建物>延べ床面積:6,388㎡ SRC造地上3階建 <土地> 19,574㎡ 駐車場 144台 <主要施設> 常設展示室、企画展示室、県民ギャラリー、講義室、創作室、ミュージアムショップ、レストラン、美術館ホール(399席)など <開館時間>午前9時～午後5時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> 常設展 一般350円・大学生250円 ※高校生以下、高知県長寿手帳所持者(65歳以上)は無料 施設利用料 県民ギャラリー21,230円(1日)、企画展示室53,100円(1日) ホール1日38,080～45,910円</p>		
職員体制	常勤職員: 12人 契約職員: 12人 合計: 24人		

2 収支の状況

単位:千円

		平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	平成21年度(予算)
収入	県支出金	316,332	327,658	314,143
	事業収入	51,192	48,075	48,933
	その他	14,961	26,483	18,990
	収入計	382,485	402,216	382,066
支出	事業費	84,604	100,142	87,398
	管理運営費	281,239	280,166	294,668
	(うち人件費)	(99,759)	(112,886)	(131,857)
	その他	14,133	17,941	0
	支出計	379,976	398,249	382,066

3 利用状況

	平成19年度実績	平成20年度実績	前年度比	
①年間利用者数(単位:人)	常設展	14,920人	11,922人	-2,998人
	企画展	38,367人	30,758人	-7,609人
	貸館	98,285人	171,259人	72,974人
	美術館ホール	43,398人	45,255人	1,857人
	合計	194,970人	259,194人	64,224人
<p><利用実績>利用者数で見ると、「モネの愛した浮世絵展」(入館者数50,918人)など、貸館事業における利用者が大幅に増加したことにより、前年度より72,974人(+74.2%)増加の171,259人となっている。なお、H20年度も館外活動に力を入れており、休・廃校プロジェクトなどで多数の方が美術館の事業に参加している。</p>				

②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケートの実施状況等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業毎にアンケートを行い、問題点、改善策等を協議確認するとともに、その結果を展覧会やホール事業、託児サービス、各講座などへ反映し事業の改善を図っている。また、アンケート集計結果は、全職員が共有している。 ・来館者から指摘のあった改善事項やアドバイスについては、学芸員の間で周知を図ったり、他の企画へも反映するよう努めている。 <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お客様の立場に立つという意識を持って対処する」を館の基本としている。 ・外部有識者による運営協議会を開催している。 ・クレームの情報を毎朝の定時ミーティング等により全職員が共有し、お客様からの質問・要望・苦情等に随時迅速・適切に対応している。 ・平成20年度に館に寄せられたクレーム件数は12件で、内容としては「販売品の在庫確保」や「多目的トイレの設置」「洋式トイレの増設」、また「美術館の東側道路に設置しているセンサー式信号機の不具合」などがあつた。
③その他特記事項	<p>[教育普及事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「美術館のなつやすみ・スペシャル 柴川 敏之 2000年後の美術館☆プロジェクト」入館者数(5,687人) ・ハローミュージアム(学校移動美術館) 4校(1,169人) ・出前びじゅつ講座 30校(910人) ・アートライブラリー企画 5回(入館者数 のべ1,003人) ・職場体験学習等受入 6校(23人) ・その他の講座・ワークショップ等 参加者数等 約800人

4 平成20年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①管理運営に関する評価	<p>効率的な運営がなされており、また、施設及び設備の管理も適正に行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき方向が明確であり、着実に成果に繋がっていること、また、過去最大の外部資金 27,342千円を獲得していることについては、大変評価できる。 ・ホール事業での企画はユニークなものが多く、前年よりも更に努力の跡が見られる。
②事業の実施(企画及び運営)に関する評価	<p>事業を通じて県民の創造活動の支援、文化振興に大きく寄与できている。また、資料については概ね適正な管理及び活用ができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等も積極的に行っており、次世代教育に今後も期待する。 ・手話、英語等ノーマライゼーションに配慮がなされている。また、様々な企画にチャレンジする積極性と果敢さに敬意を表する。 ・きめ細かい活動も良く、発想もすばらしい。それに、取りあげるアーティストもベテランだけでなく、新人の発掘にも努めている点が良い。
③総体的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な目指すべき方向を持って行動し、着実に成果に繋がっている点など、管理・運営・事業全般について大変良い取り組みを行っている。
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が、館内外で美術、演劇、音楽など広範囲の芸術文化活動に取り組んでいることを評価する。 ・前回のA評価に甘んじることなく、努力と行動力が見受けられる。特に、ホール事業の企画立案が素晴らしい。 ・美術館の催し物については、県内外に注目され、県民にも期待されるまでできている。 ・外部からの財政支援に結果として応えられていることが、信頼と次への支援へと繋がっている。 ・夏休みの期間、子ども達がお弁当を持って一日遊べるような美術館への取り組みも期待する。 ・柔軟な発想で、事業の可能性を追求して欲しい。より一層の向上を期待する。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※評価項目ごとの評価内容

評価項目	評価	特記事項
1 管理運営の基本方針(総括)	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆目指すべき方向が明確であり、着実に成果に繋がっていることを高く評価する。 ◆特にホール事業での企画はユニークなものも多く良い。 ◆前年よりも更に努力の跡が見られる。
① 平成20年度の美術館の管理運営(事業)にあたって、どのような方針を立て、どう結果をだしたか。		
② 平成19年度事業評価の結果を踏まえ、どのように取組んできたか。		
2 事業を通じて県民の創造活動の支援、文化振興への寄与ができたか	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆視点が優れており、成果を出すための努力もすばらしい。県民の期待は大きく高まっている。 ◆出前講座等も積極的に進んでおり、次世代育成事業も充実している。教育普及事業に今後も期待する。 ◆ギャラリートークへの努力は評価できるが、参加者との間に熱い思いが持てる関係ができれば、さらに充実させることができる。
(1) 展覧会事業の実施		
① 常設展、企画展及び貸館展覧会の実施回数、内容、集客目標と観覧者数等の状況	A	・手話、英語等ノーマライゼーションに配慮がなされている点も良く、努力とその成果を評価する。また、様々な取り組みにチャレンジする積極性と果敢さに敬意を表する。
② 理解促進の取組の状況		
③ 展覧会事業についての特記事項		
(2) ホール事業の実施		
① ホール事業の実施回数、内容、集客目標と入場者数等の状況	A	・個性的な企画が非常に面白い。
② ホール事業についての特記事項		・事業によっては、ホールの席数がもっと多ければと思うことがある。
(3) 教育普及事業その他の事業		
① 事業の内容、件数、参加人数の状況	A	・目的とその達成のための着眼点がとても良く、フットワークも軽い。
② 教育普及事業その他の事業についての特記事項		・サタデーレクチャーを評価する。
(4) 事業を通じた創造活動・文化振興の支援		
① 子どもが芸術文化に親しみ感性を育む取組	A	・きめ細かい活動、発想のすばらしさを評価する。
② 高齢者や障がい者が利用しやすい取組		・取り上げるアーティストも、ベテランだけでなく新人の発掘に努めている。
③ 芸術家や舞台芸術等の創作活動を支援する取組の状況		
④ 地域の文化活動との連携・支援		
⑤ 高知県ゆかりの芸術家を顕彰する取組		
(5) 県民の視点にたった運営		
① 美術館の活動や芸術文化についての情報提供	A	・情報量、質ともに充実している。
② 利用者、県民へのレファレンスの状況		・英語版リーフレットの作成。カルチャーサポーターの活動がよい。
		・県内の他の施設の牽引役となっている。
3 資料の適正な管理と活用ができたか	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆これまでの資料は十分管理ができており、所蔵品の素晴らしさも再認識できた。 ◆県民への情報発信も評価する。
(1) 資料の収集及び保存管理		
① 資料収集の状況	B	・催し物に対応した図録に魅力がある。今後、新たな作品の購入を期待する。
② 資料の修復		
③ 保存環境の維持		
(2) 資料の効果的な活用		
① 資料データの管理	B	・資料は文字データ化が完了。
② 所蔵資料の活用の状況		・公開講座などを通して成果を公表している。
4 効率的な運営とサービスの向上が図れたか	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆経費を効率的に使い、自らの努力により外部資金を導入している経営努力を高く評価する。職員の専門性も充実している。 ◆チラシ等も学校によく配られている。 ◆観覧順路をもう少しわかりやすくすれば、さらに良くなる。
(1) 経営努力		
① 収入増加の取組	A	・他の財団や振興基金、文化庁などからの資金が大幅に増加。外部資金獲得への努力を評価する。
② 経費縮減の取組		
(2) サービス向上への取組		
① 自己点検・評価の状況	B	・クレームの多かった美術館入口の信号の改善がなされた。
② 事故、クレームへの対応		・職員の専門性向上のための海外視察が、企画力の高い評価に繋がっている。
③ 職員の専門性の向上		
④ その他のサービス改善事項		
(3) 社会的責務		
① 専門的人材の育成	A	・大学生、中高生のインターンシップの受け入れを評価する。
② 県内の文化施設を牽引する取組		
③ 法令・規程等の遵守		
5 施設及び設備の管理は適正に行えたか	B	◆エントランスまでの通路は大切な場所であり、また館内への期待を高める空間でもあるので、水辺はいつもきれいにしておくことが必要。
(1) 建物や設備の管理状況		
① 点検・修繕の実績	B	
② 第三者への業務委託の状況		
(2) 危機管理		
(風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策、マニュアル作成や職員研修など)	B	
総合評価	〔評価委員の意見〕	
A	<ul style="list-style-type: none"> ◆職員が、館内外で美術、演劇、音楽など広範囲の芸術文化活動に取り組んでいることを評価する。 ◆前回のA評価に甘んじることなく、努力と行動力が見受けられる。特にホール事業の企画立案が素晴らしい。 ◆美術館の催し物については、県内外に注目され、県民にも期待されるところまでできている。 ◆外部からの財政支援に応えられていることが信頼と次への支援へと繋がっている。 ◆夏休みの期間、子ども達がお弁当を持って一日遊べるような美術館への取り組みも期待する。 例として、館外は楽しいランチスペース(雨の時は、のき下などを利用)、館内はワクワドキドキ面白い不思議なものが味わえるスペースなど。 ◆柔軟な発想で、事業の可能性を追求してほしい。より一層の向上を期待する。 	

※評価の段階の目安

- 「A」 計画や目標を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた
- 「B」 概ね計画や目標どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた
- 「C」 計画や目標に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえず、大いに改善を要する